

漏電リレー・零相変流器 形式一覧

GD-B形漏電リレー

形式	仕様
GD-B03T	AC100・110/200・220V 動作時間0.1s以下 感度電流30mA
GD-B12T	AC100・110/200・220V 動作時間0.1s以下 感度電流100/200mA
GD-B25T	AC100・110/200・220V 動作時間0.1s以下 感度電流200/500mA
GD-B510T	AC100・110/200・220V 動作時間0.1s以下 感度電流500/1,000mA

GD-C形漏電リレー

形式	仕様
GD-C	AC100・110/200・220V 動作時間0.1以下/0.3s 感度電流30/100/200/500/1,000mA
GD-CK4	AC100・110/200・220V 動作時間0.1以下/0.3s 感度電流100/200/300/500/1,000mA

- ・端子カバー（オプション）付の場合は形式末尾に－Cを付加ください。
- ・DINレール取付金具（オプション）付の場合は形式末尾に－Dを付加ください。
- ・端子カバーとDINレール取付金具共に付属の場合は GD－C－C－Dのように付加ください。

・GD-C形オプション

形式	仕様
GDTC-C	端子カバー（単体）
GDAP-C	DINレール取付用金具（単体）

GD-D形漏電リレー

形式	仕様
GD-D	AC100・120/200・240V 動作時間0.3/0.5/1/2s 感度電流100/200/500/1,000mA
GD-DK3	AC100・120/200・240V 動作時間0.3/0.5/1/2s 感度電流5/10/15/20A
GD-DK4	AC100・120/200・240V 動作時間0.3/0.5/1/2s 感度電流35/100/500/1,000mA
GD-DK5	AC100・120/200・240V 動作時間0.3/0.5/1/2s 感度電流1/2/3/5A

GD-E形漏電リレー

形式	仕様
GD-E4B	4回路入り AC100・120/200・240V 動作時間0.3/0.5/1/2s（各回路後毎に設定） 感度電流100/200/500/1,000mA（各回路毎に設定）
GD-E8B	8回路入り AC100・120/200・240V 動作時間0.3/0.5/1/2s（各回路後毎に設定） 感度電流100/200/500/1,000mA（各回路毎に設定）

GD-W形漏電リレー

形式	仕様		
GD-W	AC100～240V	軽漏電	動作時間0.3s 感度電流0.5/1/1.5/2/2.5A
		重漏電	動作時間0.3/0.5/1/1.5/2s 感度電流1/2/5/10/20A

GDZM形零相変流器

形式	仕様		
GDZM-16BT	端子付	貫通穴径φ16	定格電流50A
GDZM-30AT	端子付	貫通穴径φ30	定格電流150A
GDZM-42AT	端子付	貫通穴径φ42	定格電流250A
GDZM-65AT	端子付	貫通穴径φ65	定格電流500A
GDZM-80AT	端子付	貫通穴径φ80	定格電流800A
GDZM-107AT	端子付	貫通穴径φ107	定格電流1,600A
GDZM-16B	リード線付	貫通穴径φ16	定格電流50A
GDZM-30A	リード線付	貫通穴径φ30	定格電流150A
GDZM-42A	リード線付	貫通穴径φ42	定格電流250A
GDZM-65A	リード線付	貫通穴径φ65	定格電流500A
GDZM-80A	リード線付	貫通穴径φ80	定格電流800A

・端子カバー（オプション）付の場合は形式末尾に－Cを付加ください。

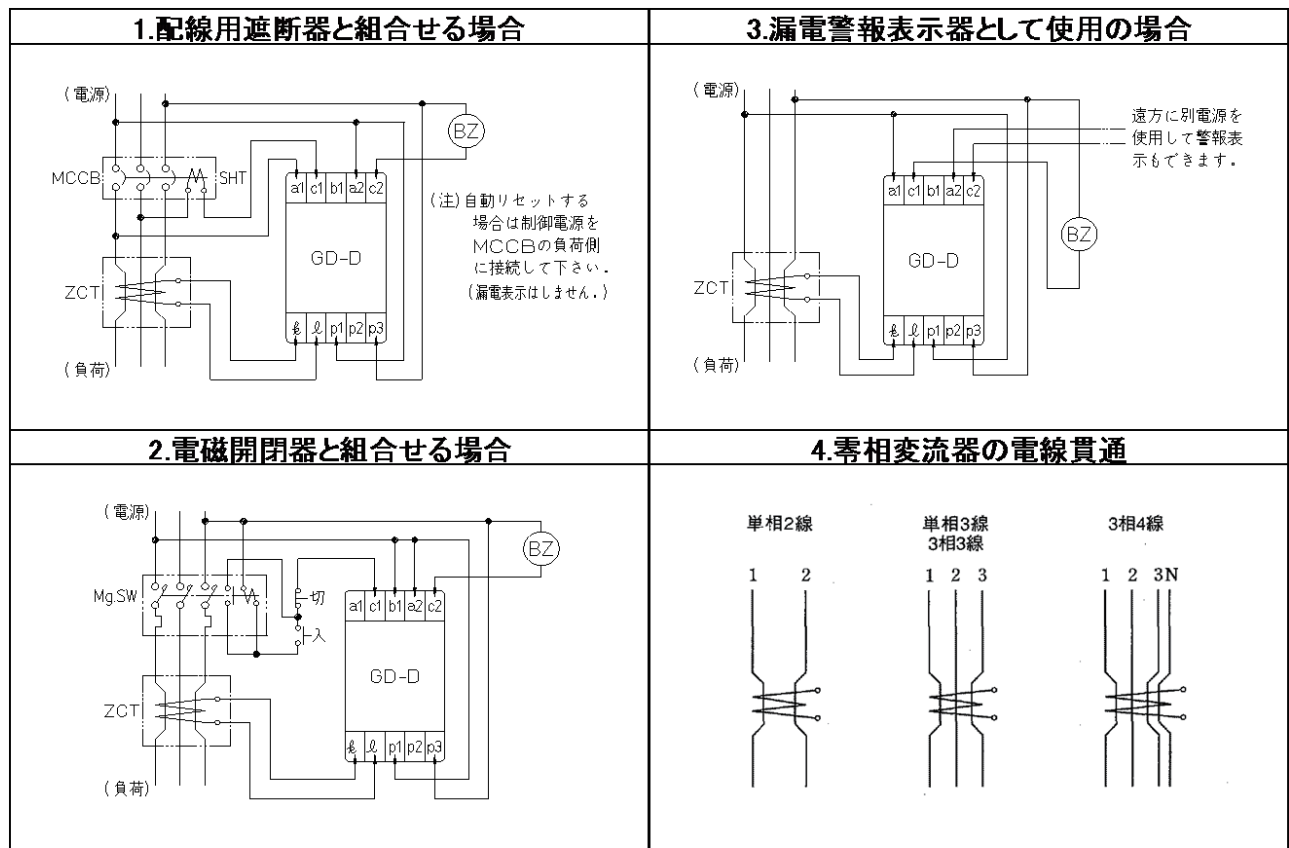
地絡遮断装置の設置場所

地絡遮断装置としては漏電遮断器または漏電リレーと遮断装置（配線用遮断器、電磁開閉器等）との組合せが適用できますが、漏電リレーを使用すればスペースを有効に活用できます。

法規		設置機器と環境		対地電圧	150V以下			150V超過	
				使用電圧	60V以下	100V	200V (単相3線)	200V	415V
電気設備技術基準 （第15条） 電気設備技術基準の解釈	金属製外箱を有する機器 （第40条）	人が容易に触れる恐れがある場合	1. 水気がある場所	×	●	●	●	●	
			2. 湿気の多い場所	×	×	×	●	●	
			3. 乾燥した場所	×	×	×	×	●	
		4. 機械器具を発電所、又は変電所、開閉所若しくはこれらに準ずる場所に施設する場合	×	×	×	×	×		
		5. 機械器具内に▽適用を受けるELBを取り付け電源引出部を補強した場合	×	×	×	×	—		
		6. 接地抵抗値が3Ω以下の場合	×	×	×	×	●		
		7. ▽適用の2種絶縁構造の機器	×	×	×	×	—		
		8. 絶縁変圧器を仕様した非接地回路	×	×	×	×	●		
		9. ゴム、合成樹脂などの絶縁物で被覆した機器	×	×	×	×	●		
		10. 誘導電動機の二次側に接続される機器	×	×	×	×	●		
		11. 電気浴器・電気炉・電気ボイラ・電解そう等	×	×	×	×	●		
	12. 特高・高圧電路に変圧器によって結合される低圧電路（発・変電所の電路を除く）＜第40条＞	×	×	×	×	●			
	13. 住宅屋内で対地電圧150Vを超える電路に施設する2kW以上の機器＜第162条＞	—	—	—	●	—			
	14. 火薬庫内に施設する機器＜第195条＞	●	●	●	—	—			
	15. フロアヒーティングなどの電熱装置＜第228条＞	●	●	●	●	●			
	16. 電気温床などの施設＜第230条＞	●	●	●	●	●			
	17. プール用水中照明灯などの施設＜第234条＞	●	●	—	—	—			
	18. 地上に施設する電路で電線がキャプタイヤケーブルである場合＜第147条＞	×	×	×	×	●			
	19. 接地工事が困難な場所＜第19・29条＞	●	●	●	●	●			
	20. コンクリート埋設の臨時配線＜第242条＞	●	●	●	●	—			
労働安全衛生規則	移動式・可搬式の電動機械器具 （第33条） （第34条）	21. 水など導電性の高い液体で湿潤している場所	●	●	●	●	●		
		22. 鉄板上・鉄骨上・定盤上などの導電性の高い場所	●	●	●	●	●		
		23. 上記21. 22以外の場所	×	×	×	●	●		
		24. 絶縁変圧器を使用した非接地回路	×	×	×	×	●		
		25. 絶縁台上で使用する場合	×	×	×	×	×		
		26. ▽適用の2重絶縁構造の機種	×	×	×	×	—		
		27. 作業者が絶縁電線または移動電線に接触する恐れがある場合＜第336条＞	●	●	●	●	●		

●：該当 ×：非該当

使用接続例



使用上のご注意

取り扱いおよび禁止事項

- ・漏電リレー・零相変流器の分解は行わないでください。
- ・人体での感電事故防止の実験は行わないでください。
- ・線間での感電保護はできません。
- ・電路の絶縁抵抗測定および耐電圧試験の際、線間測定はできませんので、漏電リレーを電路から取り外して行ってください。ただし、充電部一括と大地間は問題ありません。
- ・漏電検出部回路保護のため、制御電源端子間およびZCT入力端子間の耐電圧試験は行わないでください。
- ・分岐回路の多い場合、また配線が長い場合、漏電リレーを高感度で主回路に用いると、多数の漏電重畳により不必要に動作してしまうことがありますので、適切な感度電流を選定してください。

取り扱い上の注意事項

- ・取付穴を寸法図にしたがって加工した後取り付けてください。
- ・電線接続端子締め付けは、 $0.7 \sim 1.0 \text{ N} \cdot \text{m}$ にて行ってください。必要以上に締め付けると端子破損の原因となります。
- ・高温となる場所への取付けは避けてください。
- ・大きな振動、衝撃の加わる場所への取付けは避けてください。
- ・腐食性ガス、可燃性ガス、塵埃、蒸気、塩分などが含まれていたり、水沫、油沫などのかかる場所には取付けないでください。
- ・専用接地線はZCTに通さないでください。
- ・単走3線式および三相4線式の場合は中性線もZCTに貫通させてください。
- ・貫通電線の直線部分はZCTの平衡特性を確保するため、できるだけ長くしてください。
- ・貫通電線は、短絡事故の際に電線相互に働く電磁反発力による損傷を避けるため、締め付けバンド等で結束してください。
- ・漏電リレーとZCTの接続は、誘導の影響を避けるため、電線をより合わせて使用することを推奨します。
- ・漏電リレーおよびZCTは外部磁界の影響を避けるため、数千A以上の大電流母線から10cm以上離して取り付けてください。
- ・大きな電波を発生する装置を本装置の近くで使用しないでください。
- ・負荷機器の接地は法規に従い確実に行ってください。

保守点検事項

- ・使用前にテストボタンにより動作の確認をしてください。なお、テストボタンは動作時間以上押し続ける必要があります。
- ・月に1回以上、定期的にテストボタンにより動作を確認してください。
- ・漏電リレーが動作した場合には、回路を点検し事故原因を取り除いた後、再投入してください。